

# 令和4年度通常総会開催



6月22日令和4年度通常総会を開催しました。

今回の総会は、コロナまん延がやや収まる中で、各会員社から代表者1名を原則とし、密空間をつくらないという感染防止対策を講ずるなかで、松江市北陵町テクノアー

クしまねで開催しました。会議の様子は、Youtubeによりライブ配信を行いました。Youtubeでは双方向通信が困難な面があるため、出席ができない会員については、協会定款の規定に基づき、予め賛否を問い、出席とみなす方法を採用しました。結果、開催日当日の議決権を有する会員66名中、現に出席した者20名、みなし出席者33名となりました。



今総会の議題は、令和4年6月8日開催の理事会において議決された令和3年度事業に関する報告及び決算の承認でした。

その内容は、協会ホームページをご覧ください。

<https://www.shia.or.jp/outline/houkoku.html>



提案議案に関して、会員から特に質問等がなかったので、井上浩議長は裁決に付し、出席55名全員の賛成で、令和3年度決算が承認されました。また報告事項として、令和4年3月9日開催の理事会で決定した令和4年度の事業方針及び予算が説明されました。このなかで、協会活動の柱の一つである交流活動について、コロナの影響がなく、従前どおり実施する方針であること、また、人材研修事業に関して、協会が提携している研修事業者が行う全ての研修事業を協会研修事業として扱い、多様な研修需要に対応する方針であることが報告されました。

その他に、出席会員からの議案提案がなかったので、14時半、井上浩議長は令和4年度通常総会の終了を宣言しました。

総会終了後、令和3年度協会人材研修事業に係る功労者表彰を行いました。今年度は、(株)テクノプロジェクト、(株)ペンタスネット、(株)アイ・コミュニケー

ションの3社です。このうち出席があった(株)テクノプロジェクト及び(株)ペンタスネット2社に井上浩代表理事会長から表彰状が渡されました。

続いて、島根県地域振興部地域政策課佐川デジタル戦略室長から、「島根県 ICT 総合戦略とデジタル戦略室の取組」の説明がありました。この中で、佐川室長は、自治体の DX 化、デジタル田園都市国家の動きを地域で皆さんと着実に進めたいと強調しました。総合戦略は、県庁各部が進める ICT 関連施策の上位計画であり、いわば島根県の ICT 関係施策の「憲法」となるものです。質疑応答では、施策を進めるうえでの予算の状況、各部事業との関連や教育における ICT 化に関する質疑が活発にありました。

国の具体的な施策がまだ見えない中、全国共通システム化構想等、地域のシステムベンダーにとって見逃せない問題が出てくる可能性があります。今後を注視して行く必要があります。

総会及び島根県 ICT 総合戦略講演会の模様は、次の URL にあります。ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=idpW5nUykTY>

